

令和4年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画と実績

1 令和4年度の取り組み（令和4年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画 一部抜粋）

（1）排出抑制

ア 家庭ごみの一部有料化

燃やすごみ、燃やさないごみ、生ごみは指定袋で、粗大ごみは処理券シールの貼付により有料収集し、分別の徹底を推進。

イ 家庭用生ごみ処理器（堆肥化容器）の購入費補助

生ごみを堆肥化する容器の購入費を補助し、家庭での生ごみの減量と資源化を支援。

ウ 生ごみの水切りの励行

生ごみは水分を多く含むことから、水切りの徹底を広報紙や市政出前講座などで周知。

エ 枝葉・草の自家処理の励行

枝葉・草は、身近な大地への還元を広報紙や市政出前講座などで周知。

オ 事業所ごみの減量化の促進

事業用大規模建築物の所有者から減量計画書等の提出を求める。

事業所用指定袋への事業所名の記載を徹底し、排出者責任を明確にする。

カ マイバック運動等の推進

レジ袋や紙袋、びん・缶・ペットボトルの排出を抑制するため、マイバック運動やマイボトル運動の普及を図るとともに、簡易包装製品の普及や購入の推奨、リサイクルショップやフリーマーケットの活用促進を図る。

キ 食品ロスの削減

食品の食べ切り、使い切り等の励行を広報紙や市政出前講座などで周知。

（2）再使用・再資源化

ア 生ごみバイオガス発電センターの運用

生ごみは、バイオガス発電センターで発酵・分解し、発生するバイオガスを発電等に利用。

イ 枝葉・草の資源化の推進

収集した枝葉・草は、培養土・有機肥料の原料のほか、発電用燃料とする。

ウ 資源回収奨励金交付事業の実施

古紙類や金属類を集団回収した子供会等に、資源回収奨励金を交付し、資源化を推進

エ 資源物の拠点回収の実施

市内8か所の常設拠点と山古志、小国、与板、川口地域にサテライト拠点を設置し、リユースびん、古着・古布、食器類、小型家電、びん・缶・ペットボトル、古紙類（新聞、雑誌・チラシ、段ボール）、使用済み天ぷら油、靴、かばん・ベルト、ミックスペーパーの排出の機会を増やし、ごみの減量と資源化を推進。

2 計画収集及び直接搬入

区分		収集運搬実績			
		収集 主体	収集方式	収集 回数	収集量
ごみ	燃やすごみ (うち生ごみの発酵不適物)	委託	ステーション方式	週 1 回	48,894 t (3,310 t)
		許可	戸別	随時	
		排出者	—		
	燃やさないごみ	委託	ステーション方式	月 2 回	4,120 t
		排出者	—	随時	
	粗大ごみ	委託	各戸	随時	1,278 t
		排出者			
	生ごみ	委託	ステーション方式	週 2 回	9,396 t
		許可	戸別	随時	
		排出者	—		
資源物	びん・缶・ペットボトル	委託	ステーション方式	週 1 回	3,548 t
	プラスチック容器包装材	委託	ステーション方式	週 1 回	3,639 t
	古紙	委託	ステーション方式	月 2 回	5,722 t
	枝葉・草	委託	ステーション方式	週 1 回	4,325 t
			月 2 回		
		拠点回収方式	指定日		
	古着・古布	委託	ステーション方式	月 2 回	225 t
有害危険物	委託	ステーション方式	月 2 回	78 t	

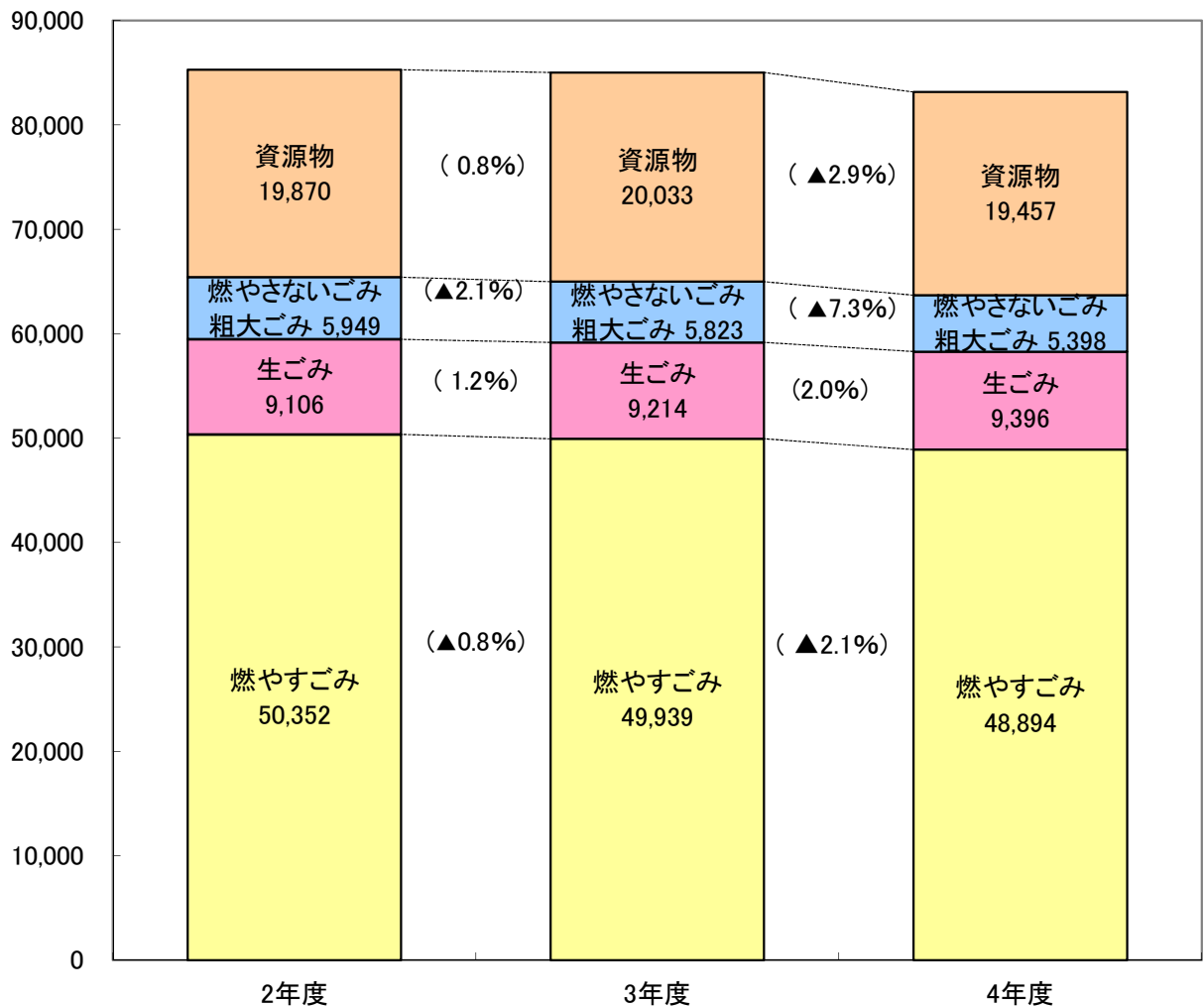
ごみと資源物の排出状況
(集団回収分を含む)

(単位:トン)

区分	2年度	3年度	4年度
燃 や す ご み	50,352	49,939	48,894
生 ご み	9,106	9,214	9,396
燃 や さ な い ご み 粗 大 ご み	5,949	5,823	5,398
資 源 物	19,870	20,033	19,457
(行政回収・拠点回収)	18,520	18,572	18,111
(集団回収)	1,350	1,461	1,346
計	85,277	85,009	83,145
対 前 年 比 (%)	▲ 2.5	▲ 0.3	▲ 2.2
参 考 : リ サ イ ク ル 率	23.7%	24.2%	24.3%

令和2年～令和4年度のごみと資源物の排出状況

(単位:トン)



※()は前年度比